

2023(令和5)年9月22日 報道発表資料
[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



イラスト：あさののい

俳優で介護福祉士の菅原直樹氏が立ち上げた OiBokkeShi が、
看板俳優の岡田忠雄氏(97歳)とともに
活動10周年の節目に取り組むのは、前代未聞の生前葬演劇 ——! ?

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3』参加事業
「老いと演劇」OiBokkeShi 「レクリエーション葬」京都公演

2023年10月22日(日)
ロームシアター京都 ノースホール

作・演出:菅原直樹
出演:有安由香梨、石田直樹、井上洋子、岡田忠雄、金定和沙、
呉英長、申瑞季、角田美穂子、武田有史

[本リリース発信元]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形、加藤
電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

ロームシアター京都では、2023年10月22日(日)に「老いと演劇」OiBokkeShi「レクリエーション葬」を開催いたします。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、2014年に岡山県に設立された「老いと演劇」OiBokkeShi。主宰の菅原直樹氏は、超高齢社会で誰もが直面する「老い」「ぼけ」「死」という課題に、対話や共感による演劇的手法で向き合うという新たな切り口の演劇を開拓し続けています。今やその活動は、演劇界だけでなく、福祉や介護など多方面から注目を集めています。OiBokkeShi設立10周年の記念すべき年に、生前葬を通して「死」と向き合うまさに「Re:Creation(レクリエーション／再創造)」ともいえる作品です。

■ 作品概要

- あらすじ -

老人ホームに入居している97歳の岡谷正雄は、介護職員が提供するレクリエーションに腹を立てていた。

彼は命を懸けることができるレクリエーションを欲し、介護職員は「生前葬をしましょう」と提案する。それから月に一度、岡谷は死ぬことになった。

横たわる岡谷の前で、介護職員の氏家や一反田が語る岡谷とのエピソードや人生。それを静かに見守る、娘の山岡幸枝。生前葬が行われるたびに、毎回違うリアクションで応じ、介護職員にダメ出しをする岡谷。どのように生き、どのような死を迎えるのか、レクリエーションとしての葬儀＝レクリエーション葬を通じて、最期のときを迎えるリハーサルを皆でしているかのようだ。

今日も老人ホームでは、岡谷のレクリエーション葬がはじまった。たまたまそこに居合わせた入居者の宮坂礼子とその息子・杜夫も、レクリエーション葬に参列することになる。そこで突然、岡谷は杜夫に対して、自分の息子「隆」だと、名前を連呼し始めて一。

「レクリエーション」として繰り返される生前葬。この劇中劇の構造が、認知症の世界と健常者の世界／演技(演劇)と現実／死と生／夢と現実などの境界を曖昧にしていきます。「老い」、「認知症」、「介護」といったテーマを、演劇という表現形式にしかできないやり方で描き出した本作は、超高齢社会に生きる私たちの日常をパワフルに揺さぶります。

自身も高齢者福祉に携わる菅原氏と、「舞台上死ぬのが本望」が口癖の看板俳優・岡田氏。唯一無二のタッグが「死」と向き合った、前代未聞の生前葬演劇の幕が上がります。

■プロフィール

「老いと演劇」 OiBokkeShi

俳優で介護福祉士の菅原直樹を中心に、2014年に岡山県和気町にて設立。2016年より活動拠点を岡山県奈義町に移す。看板俳優は、岡田忠雄(97歳)。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施。超高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチする。その活動は、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集める。

OiBokkeShiの活動を密着取材したドキュメンタリー番組「よみちにひはくれない～若き“俳優介護士”の挑戦～」(OHK/2015年)が第24回FNSドキュメンタリー大賞で優秀賞を受賞。岡田忠雄の日常を密着取材したドキュメンタリー番組「演じて見る」(KSB/2018年)が平成30年日本民間放送連盟賞で優秀賞を受賞。

<https://oibokkeshi.net/>



OiBokkeShi『エキストラの宴』(2022)
撮影: hi hoo farm

【これまでの演劇公演(抜粋)】

- 第1回公演 徘徊演劇「よみちにひはくれない」(2015年)
- 第2回公演 「老人ハイスクール」(2015年)
- 第3回公演 「BPSD: ぼくのパパはサムライだから」(2016年)
- 第4回公演「カメラマンの変態」(2017年)
- 「ポータブルトレットシアター」(2018年)
- 世界ゴールド祭 2018 徘徊演劇『よみちにひはくれない』浦和バージョン(2018年)
- 第6回公演 徘徊演劇「よみちにひはくれない」(2019年)
- 第7回公演「認知の巨匠」ワーク・イン・プログレス(2019年)
- 「老いと演劇」OiBokkeShi 第8回公演 「ハッピーソング」(2020年)
- 老いのプレーパーク出張公演 in いなべ市 「あたらしい生活シアター」(2021年)
- イギリス・コベントリー『Theatre of Wandering』(徘徊演劇『よみちにひはくれない コヴェントリーバージョン』)(2021年)
- 令和4年度奈義町人権教育講演会 特別演劇公演「エキストラの宴」(2022年)

菅原直樹(すがわら・なおき)

1983年栃木県宇都宮生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒。劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。

「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。四国学院大学非常勤講師、美作大学短期大学部非常勤講師。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。

小劇場を中心に、前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。

2010年より特別養護老人ホームの介護職員として



撮影: 草加和輝

勤務。2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住。
2014年「老いと演劇」OiBokkeShiを岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。さいたまゴールド・シアターと共同し制作した『よみちにひはくれない浦和バージョン』(2018年/世界ゴールド祭)、OiBokkeShi×三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト(2017年～)など、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数実施している。
平成30年度(第69回)芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)を受賞。
平成30年度(第20回)岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。奈義町文化功労賞受賞。
2019年度(第1回)福武教育文化賞受賞。第81回山陽新聞奨励賞 社会部門受賞。

■公演情報

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3』参加事業

「老いと演劇」OiBokkeShi 「レクリエーション葬」 京都公演

日時:2023年10月22日(日) 13:00 開演
★ヒアリンググループ席あり。託児サービスあり。

会場:ノースホール

作・演出:菅原直樹

出演:有安由香梨、石田直樹、井上洋子、岡田忠雄、
金定和沙、呉英長、申瑞季、角田美穂子、武田有史

美術:森純平

照明:井上瑞穂

音響:家野裕子(株式会社アンダートーン)

舞台監督:中西隆雄、三津田なつみ

美術協力:市川博明、栗原立

音響補佐:石見哲紀

宣伝美術:hi foo farm

宣伝イラスト:あさののい

制作:武田知也

企画制作:「老いと演劇」OiBokkeShi、一般社団法人ベンチ

製作:公益財団法人岡山文化芸術創造、「老いと演劇」OiBokkeShi

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人全国公立文化施設協会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)|独立行政法人日本芸術文化振興会

KYOTO EXPERIMENT 2023 提携プログラム



■チケット情報 [好評発売中]

全席自由／一般 3,500 円、ユース(25 歳以下)2,000 円、18 歳以下 1,000 円

※未就学児入場不可

※ユース(25 歳以下)、18 歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

チケット取扱:

・オンラインチケット 24 時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都チケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-746-3201(10:00~17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)]

・京都コンサートホールチケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-711-3231(10:00~17:00、第1・3月曜休 ※祝日の場合は翌日)]

お問合せ:ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演 WEB ページ:<https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/108573/>

■関連企画

①レクリエーション葬ワークショップ

今回の作品をモチーフにした演劇のワークショップです。これまでの人生を振り返ったり、自分の最期を想像したりして、レクリエーション感覚で自分の生前葬を企画していきます。最後には、グループに分かれて自分たちの考えた生前葬を発表します。演劇経験は不問です。

講師:菅原直樹 (OiBokkeShi 主宰)

日時:2023 年 11 月 6 日(月)、7 日(火) 両日とも 18:30~21:30

会場:ロームシアター京都 ノースホール

対象:高校生以上(演劇経験不問)

定員:15 名 ※応募者多数の場合は抽選

参加料:1000 円

申込締切:2023 年 10 月 23 日(月)23:59

申込方法:フォームにてお申込みください。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/434ae279291134>

②老いと演劇のワークショップ

演劇体験を通じて楽しみながら認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップです。参加者同士で認知症の人役と介護者役を交互に演じて、認知症の人の言動を否定せずに受け入れるコミュニケーションや、言動を否定されたときの認知症の人の気持ちを疑似体験してもらいます。演劇・介護経験は不問です。

講師:菅原直樹 (OiBokkeShi 主宰)

日時:2023 年 11 月 7 日(火) 13:00~15:30

会場:ロームシアター京都 ノースホール

対象：高校生以上(演劇・介護経験不問)
定員：30名 ※応募者多数の場合は抽選
参加料：1000円
申込締切：2023年10月23日(月)23:59
申込方法：フォームにてお申込みください。
<https://pro.form-mailer.jp/fms/434ae279291134>

■他地域での公演

〈岡山〉9月30日(土)・10月1日(日) 岡山芸術創造劇場 ハレノワ
詳細：<https://okayama-pat.jp/ceremony/oibokkeshi/>